

の國の住人井上次郎師方の申行ふに依て、木曾斯る悪事をするとぞ聞えし。」と見える。

キノオモテ 井面 鳳至郡下町野郷に屬する部落。能登名跡志に、『少し川上に井面村とて公領あり。此宮は岩井堂とて、不思議なる社地なり。御神林は隣の緒といへり。』とある。

キノカハチ 井河内 河北郡井上庄に屬する部落。

キノクチ 井口 能美郡栗津郷に屬する部落。

キノクチ 井口 能美郡波佐谷の内の小字。

キノクチ 井口 石川郡林郷に屬する部落。天正十一年四月豊臣秀吉の制札にも、石川郡井口村とあり、寛文十年の村御印には井の口村とある。

キノクチキヘイ 井口義平 幼名義四郎。垂簾にして父義三郎を襲ひ、祖父銀太郎の養ふ所となつて庭訓極めて嚴簡であつた。稍長じて大船流の槍術を學び、又壯猶館に入つて操銃の法を習ひ、明治元年銀太郎歿したるを以てその後を襲ぎ、興力として百八十石を受けた。然るに義平は執政本多政均の處置を以て施治に害ありとし、二年八月七日山邊沖太郎と共に之を二丸殿中に刺殺し、四年二月十四日刑獄寮に於いて自らを命ぜられた。享年廿三。

キノクチサイ 井口濟 通稱嘉一郎。字は孟馬。隼川又は致政堂と號した。家世々藩に仕へて、持筒足輕であつた。隼川年廿七で江戸に遊學したが、貧にして資を出すことを得なかつた。乃ち諸名家に躍り、乞ひて躬ら脊汲の役に當り、以て樂を受けたが、是の如き

もの六年で識大に進み、濱松の水野侯に招かれて藩の教授となり、侯の封を山形に移されるに及び、辭して江戸に歸り、復安井息軒に就いて學び、後父母老するを以て郷に歸り、遂に老臣横山氏に仕へてその偏員となつた。時に慶應元年三月。王政維新の際、擡でられて士籍に列し、或は侯に従うて京師に據り、或は議事員となり、貢士となり、權辨事に任ぜられ、明治二年又藩知事に隨うて東上し、議衆兼侍讀となつたが、已にして歸り、藩の文學となり、置縣の後諸學校に教鞭を執つた。濟の學は濠洲を宗としたが、博覽廣渉して一説を規とせず、その經を解するに訓詁精微を究め、操行勤儉、性亦孝友であつた。文化九年十二月を以て生まれ、明治十七年五月歿した。年七十三。

キノクチモヘエ 井口茂兵衛 前田利家に仕へて祿千石を受け、天正十二年末森城後巻の際奮闘した。子孫世々藩に仕へる。

キノコクロザエモン 猪子九郎左衛門 大坂再役に祿千石を以て從軍し、街口に於いて鎗功があつた。寛永十八年耶蘇宗門のことに就き江戸に赴いたが、その後は不明である。後加賀藩臣にこの姓の者は居ない。

キノコモチ 亥子餅 藩政の時、十月上亥の日に於いて、牡丹餅を作り神佛に供し、又鏡餅の如く重ねて、紅葉を敷きたる上に載せ、亥の神に献げて子女の繁華を祈つた。亥子餅といふのはこれで、士家に於いてのみ作られた。

キノシン 猪 安永五年十二月加賀藩の法令に、『近年猪多相成、田畑喰荒候由及承候。依而是以後猪狩捕候は、一疋に米一斗宛爲

御褒美可被下之候條、狩捕候猪之尾夫々奉行迄可相達候。』とある。

キノシツカ 猪塚 河北郡杉瀬の部落から東方四〇〇米に在る。高さ一米二、徑三九厘の圓柱狀の碑で、前面と右方に梵字を刻し、左方に『所修一切衆善業利益一切衆生故』とあり、『除生死冥皆提、安永六年丁酉二月十五日金剛佛子沙彌義道書』とある。三州奇談に、竹橋猪塚は安永三四年の頃藩から野猪を獲る者に賞賜するとの令があつたが、五年大雪の爲に捕獲せられるもの數千に及んだので、その尾を證として褒美の米穀を受け、後塚に籠めて碑を立てたのであると記する。こゝに竹橋とあるは杉瀬の誤であり、安永三四年といふは五年十二月であつた筈だ。

キノハナ 猪ノ鼻 羽咋郡牛下の部落から西南に在る岬。

キノヒラ 猪ノ平 鳳至郡矢波の内の小字。

キノヒラヤマ 井平山 鳳至郡小垣の部落から北方に在る山。高さ一二九米。地質第三紀層。

キノマキキヨ 井野牧清 初めて前田利長に召抱へられて、百五十石を領した。その子小右衛門新知三百石を賜はり、母の氏石黒を稱した。小右衛門の家は三代で斷絶したが、その弟瀬兵衛は別に新知二百石を受け、子孫藩に世襲する。

キノマトヨエモン 猪俣豊右衛門 祿百六十石、定番御馬廻組に班し、延寶八年定檢地奉行に任ぜられ、享保七年歿。七十五歳。子孫藩に世襲する。

キノバヤシ 井林 珠洲郡經念の内の小字。

キノタ あぶた 鳳至郡小泉の内の小字。

キノシロ 蘭庭 能美郡小松附近に産する。口碑に吉竹村の釜屋清右衛門が大野地内で天然蘭草を發見し、之を移植培養して製織したに起るといふが、事實か否か判明せぬ。唯早期の蘭草栽培地が神不動島打越・若杉・八幡であり、慶長六年以來夫役に代へて盛の表を納めたことは、同十七年十二月廿五日附前田利常の判書によつて知られる。是等の諸村で製織したものを五ヶ表とも小松表とも稱し、利常の產業獎勵に伴うて、機具の改良と共に益良質のものを産出するに至り、元祿中の書上には、前記五ヶ村の外北淺井村が年中蠶表莫産を製するともある。爾後加賀藩は表檢役を置いて粗製濫造の弊を戒め、又他の附近諸村にも傳播することになつた。

キノリアゲザカ 井守上坂 鳳至郡七浦庄に屬する部落。

キノリボリ 守宮城 金澤城の西南本丸下から、玉泉院丸の外まで連続した塹壕をいふ。名義は詳かでないが、多く守宮が居たからであらう。今埋立て、道路となつてゐる。

キノジユキユウ 猪尾壽休 錢醫で、元祿九年百五十石を興へられ、元文五年七十九歳を以て歿。養子を願出たが、手續不正の爲跡目は許されなかつた。

エサシ 餌指 藩政中指し竿で鷹の飼料に當てる小鳥を捕獲する者をいひ、慶長十年前